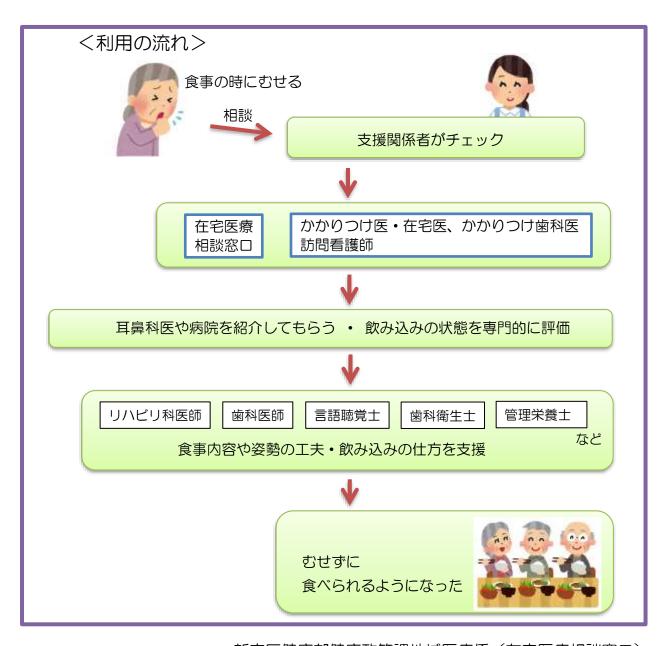
【支援者向け】

新宿ごっくんプロジェクト 〜安心して食べることを支援するまちづくり〜

"口から食べること"をサポートします

新宿区では、「新宿ごっくんプロジェクト」として、区民が地域で障害があっても安心して食事が摂れ、QOL(生活の質)の高い生活を送ることができることを目的に、医師・歯科医師・看護師・言語聴覚士・歯科衛生士・管理栄養士・ケアマネジャーなど、様々な専門職が関わる摂食嚥下機能支援のための多職種連携を推進しています。



新宿区健康部健康政策課地域医療係(在宅医療相談窓口)



住 所:新宿区新宿 5-18-21 TEL:(5273) 3839

FAX: (3273) 3876



摂食嚥下連携支援ツールの全体像 Ver.1

患者本人・家族・ケアマネ・ヘルパーなど誰でも

相談・紹介(ツール①)

患者本人の周囲の 医療職(摂食嚥下の 観察ができる人)

評価報告 (ツール③)

(ツール②)

紹介

嚥下評価できる 専門機関・医師

ツール ① 飲みこみチェックシート

【使い道(例)】

- ・定期的な機能チェック
- ・医師等に相談する資料として
- ・サービス担当者会議 等

ツール ② 摂食嚥下観察評価表

【使い道(例)】

- ・専門機関・専門医へ紹介する資料として
- ・カンファレンス
- ・サービス担当者会議等
- *専門機関・医師へ紹介するときには基本情報が分かるもの(病歴・受療状況等)をつける。

ツール ③ 摂食嚥下評価報告書

【使い道(例)】

- ・嚥下評価を報告する資料として
- ・カンファレンス
- ・サービス担当者会議 等

【使い方事例】

*摂食嚥下障害があることが分かっている場合(例えば胃ろう造設しているなど)はツール②から始めてもよい。

*チェックシートで摂食嚥下障害があると分かり、近所の耳鼻科に相談する場合はツール ①を持って受診してもよい。